



進路だより

～7・6・5年後の君達を応援します～

第3号

2010年5月12日(水)

茨城県立並木高等学校

進路指導部

＝第1回定期テストをひかえて＝

今できること : 定期テスト前のセルフチェック (下表参考)

1年生にとって初めての定期テストがまもなく始まります。テストの科目も、出題される内容も、中学生の時よりずっと多くなっていることに気付いて、焦りや不安を感じている人もいるのではないのでしょうか。確認をします。「ノートは教科ごとに作成していますよね。」

高校生になったら、ノートの作り方も工夫しなければなりません。中学までのように先生が黒板に書いていることだけを写している人はいませんか。このようなノートのとり方では不十分です。授業中に先生が話していることで、自分の中で「!」と思ったものを書き留めるようにしましょう。「!」を得るためには予習が欠かせません。またワークブック等で問題演習をしているときに分からなかったところが、ノートに書いてあることもありますし、また分かったことを更にノートに書き足すこともあるでしょう。このように勉強の能率を上げるのはノートの作り方次第だといっても過言ではありません。授業では必ず教科ごとにノートを作成することにしましょう。

ノート作成のポイントは「予習⇒授業⇒復習」の流れが分かるようにすることです。予習で分からなかったところ、授業で聞いて間違えたところは消さずに残しておくことです。復習のときに分かったことや問題演習をとおして分かったことも別の色ペンで書き加えておくと理想的ですね。

2年生は高校生活を1年間経験してきて、定期テストや模擬テストが毎月のようにやってくる生活にも慣れ、計画的に学習を進めることが出来ている人もいれば、山のようにたまった課題の中から、やらなくてもすむものを選び出すことに頭を悩ませている人もいることでしょう。中にはテストのできが悪くても、まったく動じることのない強い心を身につけてしまった人もいるような気がします。

3年生の皆さん、勉強や部活動、生徒会活動や学校行事に追われ、忙しい日々を過ごしながら、ちっとも上がってはいかない自分の成績に、「こんなはずじゃなかったんだけどなあ」と、ふとつぶやいてみたり…。高校生によく見られる姿です。あなただけではありませんよ。多くの先輩たちが、そうやって悩み、それでもなんとか頑張って卒業していきました。最後には「やっぱりこの学校でよかった」と言いながら。3年生になり、とにかく入試に向けて突っ走るしかないという状況になる前に、「なぜ学ぶのか」という問いに真剣向き合い、自分なりの答えを探してみてもうでしょう。

さあ、最初の定期テストです。この時期は次のようなチェックポイントを参考にしてみてください。あなたはいくつあてはまりますか。

- ① 身の回りが片付いている。
- ② 制服をきちんと着用できている。
- ③ チャイムと同時に授業を始める準備ができている。
- ④ 決まった時間に家庭で学習を始める習慣がついている。
- ⑤ 『予習→授業→復習』のサイクルが確立できている。
- ⑥ 到達度テストに全力で取り組むことができている。
- ⑦ 今日、放課後(SST)、そして家で何を勉強するか決まっている。
- ⑧ 各教科の提出物や課題は全て時間がかかってもこなせている。
- ⑨ 分からないことを友達や先生に質問できている。
- ⑩ 校内に悩み事を相談できる先生方がいる。

※分からないところは放っておかないことが大事だ。



成績上位者の傾向

とにかく教科書と学校の問題集をやりこなす。
英語ができないと文系・理系どちらの大学にも入れない。

数学は、学習習慣で成功と失敗の差が大きく開く。
高校生活を積極的に送る。人の話を素直に聞く。

予習→授業→復習

3年生へ (1・2年生は3年生の様子を見ていてください)

【我慢して最低限の学習時間を確保する】

部活動をしている生徒にとって、この時期が3年間の集大成としてのとても大切な時期であることは言うまでもありません。勉強を言い訳にして、練習を休んだり手を抜いたりすべきではありません。最上級生としての責任をしっかりと受けとめ、自分自身に恥じることの無いよう、しっかりと部活動に打ち込んで下さい。しかし同時に、部活動を言い訳にして、日々の学習から逃げてもいけないのです。卒業生の中には、最後まで部活動を頑張っ、引退後に成績を急速に伸ばして志望大学に合格していった人たちもたくさんいます。むしろ、伸び幅という点においては、部活動を頑張った人のほうが、最後には成績を大きく伸ばしていったと言ってもいいかも知れません。けれどもそういう人たちの多くは、部活動で疲れ、時間が削られている間も、なんとかして学習時間を確保しようと努力していた人たちです。思うように学習時間が取れないことに悩みながら、1時間あるいは30分、15分という小間切れの時間を大切にしていたからこそ、自由になる時間が増えた時、すぐにそれを学習時間へと切り替え、しかも中身の濃い学習を積み重ねることができたのです。「もっと勉強したいのに、これだけしか時間がない」という思いが、部活動引退後に爆発的なエネルギーを生むのです。

【今、すぐ】

「今は部活動だけ。勉強は引退してから」と思っている人は、今すぐなんとかして学習時間を生み出しましょう。0分を30分へ、30分を1時間へ、1時間を1時間半へと学習時間を増やしましょう。その自分に対する厳しさは、8ヶ月後のセンター試験で実を結ぶだけでなく、目前に迫った部活動の最後の舞台でも、目標を達成するための大きな力になることでしょう。

【教育実習生が来ます】

5月21日から教育実習生が来ます。充実した実習ができるよう温かい気持ちで協力するとともに、どのような生活を送っているのか、各大学の特色はどんなものか、受験勉強の苦労話など、現役の大学生でなくては聞けないようなことをどんどん聞いてみましょう。皆さん自身のやる気にもきっとつながると思います。

Serendipity

新学年が始まって1ヶ月が過ぎました。クラスの雰囲気はうち解けてきたでしょうか。6月には「かえで祭」があり、8日には試食会が行われました。2・3年生は1年生に高校生のパワーを見せて下さい。1年生は上級生を見ならって、充実した高校生活を満喫して下さい。さらに、そうしたさまざまな人との交流をとおして、将来の進路や来年度の科目選択など、相談しやすい先生や上級生、同級生も見つかるといいですね。

□■□ 5・6月の進路関係行事予定 □■□

5月18日～20日 高 校 定期テスト1

22日 高 校1年 土曜学習会 / 高校2・3年 河合塾記述模試

6月12日 高校1・2年 土曜学習会 / 高 校3年 進研マーク模試